

趣 旨

ことわざは、永久不変ではありません。表現の一部を他の語に置き換えると、新規のことわざが誕生します。これは再生ことわざと呼ばれ、新聞の見出し・雑誌の広告・小説の表題・漫画の台詞など、随所に見出すことができます。

再生ことわざは、伝統と創造から成立します。一方、ボンボン・ショコラは、具材とチョコレートから構成されます。両者は、①2つの層から成る、②芸術的技法が凝らされる、③中身と外形の調和をめざす、④次々と新作が作られる、という共通性を有します。

若き言葉のパティシエによる、独創的な作品を募ります。



2021年度募集要項

- **募集対象**
英語を母語としない高校生
- **募集期間**
2021年11月4日(木)～18日(木)
- **応募方法**
以下に示したウェブサイト参照
- **参考資料**
ウェブサイトの中のPDF
<英語再生ことわざハンドブック>
- **審査結果**
2022年2月25日(金)にウェブサイト
で発表
- **賞品**

優秀賞 1名・図書カード(20,000円分)
入賞 8名・図書カード(10,000円分)

ただし、審査によって、上記の内訳と異なる結果になる場合もあります。
- **URL**
www.lit.otsuma.ac.jp/english/anti-proverb/
- **問い合わせ先**
E-mail: otsuma.kotowaza@gmail.com
- **発行者**
大妻女子大学文学部英語英文学科
- **企画者**
APPT (Anti-Proverb Project Team)
- **発行日**
2021年5月1日(第1版)

全国高校生 英語再生ことわざ コンテスト2021



— 主催 —

大妻女子大学文学部 英語英文学科

全国高校生 英語再生ことわざコンテスト 2021

「再生ことわざ」 の創り方

現行のことわざ **Silence speaks louder than words.** (沈黙は言葉より能弁である) に基づき、<再生ことわざ> **Absence speaks louder than words.** (不在は言葉より能弁である) が生まれました。ここでは、**silence** が **absence** に置き換えられています。両方とも2音節からなる単語で、第1音節に強勢が置かれます。さらに、最後の音節の母音と子音の塊 **/-əns/** が共通で、脚韻を踏みます。

単語を置き換えた結果、現行のことわざとは全く異なる世界が提示されました。このように、意味と音声の両面に渡って技巧を凝らすと、ツボにはまった<再生ことわざ>を創ることができます。

2019年度 優秀賞作品

●ペンネーム	Summer	●高校	渋谷教育学園幕張高等学校 2年
●現行のことわざ	Be slow to promise and quick to perform.	●再生ことわざ	Be quick to assess and slow to accept.
●制作者のコメント			
誰でもが情報を入手できる今の世の中、情報をすべて鵜呑みにしてはいけないという意味のことわざを作りたいと考えました。現行のことわざの slow と quick の順序を入れ替えることで、情報を鵜呑みにするな、というニュアンスになるのではないかと思います。現行のことわざは頭韻 (p) になっていたため、再生ことわざも頭韻 (a) を心がけました。			

注意事項

- 1回に1つの作品を提出することが認められます。複数の作品を提出するとすべて無効です。
- 同じ表現が既に流布していないか、必ずネットで確かめてください。先行事例が検出された作品は無効です。
- 応募作品は、現行のことわざを、何らかの形で継承する必要があります。現行のことわざとの関連が伝わらない作品は無効です。
- Power Point** と **Mickey Mouse** は共に頭韻を踏み、**Seven Eleven** と **SOYJOY** は共に脚韻を踏みます。このように、修辭的技法を活用し、耳に心地よい表現を案出してください。